

(29-9)

第3回 家畜衛生技術検討会を開催しました。

平成29年12月26日

岐阜大学との連携事業の一環として、家畜衛生に係る連携事業や共同研究などについて情報共有や検討する場として、家畜衛生技術検討会を開催しています。

第3回は、岐阜大学が主催した「高病原性鳥インフルエンザの発生経過と対応の実際」をテーマとした「感染症セミナー」に県内の家畜保健衛生所等の職員が参加する形式での開催としました。

中央家畜保健衛生所からは、昨年1月に管内で発生した際に、最初に農場へ入り、検査や防疫措置の対応にあたった職員から、当時の状況などの話をしました。また、東山動物園での発生時の対応について、副園長の茶谷公一先生から具体的な話題を提供いただきました。

日時：平成29年12月26日(火)14:00～16:00

場所：岐阜大学 応用生物科学部 101 講義室

出席者：約40名

(岐阜大学教員・学生、県畜産課、畜産研究所、家畜保健衛生所職員)

<内容>

○岐阜県の鶏での発生経過と対応

○東山動物園における高病原性鳥インフルエンザの発生とその防疫措置について



写真：開会のあいさつ（左）及び発表の様子（右）

養鶏場や動物園等での防疫対応の強化の重要性について、改めて認識するよい機会となりました。